

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



2020年5月28日

No. 20-154

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

**愛媛県内民間企業の夏季ボーナス支給見込みアンケート結果のお知らせ
～夏のボーナスは、製造業が前年を下回り、非製造業は前年を上回る見込み～**

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 重松 栄治）では、このたび別紙のとおり、愛媛県内民間企業の夏季ボーナス支給見込みアンケート結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

以上

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 **伊予銀行** 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

夏のボーナスは、製造業が前年を下回り、非製造業は前年を上回る見込み

— 2020年夏季 県内民間企業ボーナス支給見込みアンケート結果 —

1. この夏の県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額は、前年を0.3%上回る41万3千円となった。
2. 1人当たり支給見込み額の部門別の前年比増減率をみると、製造業は前年比3.4%減少したものの、非製造業は同1.4%の増加となった。
3. 新型コロナウイルスの感染拡大によるボーナス支給への影響について、例年の水準を維持する企業が約5割、例年より減らす見込みと回答した企業が約2割を占めた。

日本経済は新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動に大きな制約が課せられ、2020年1～3月期の実質GDP成長率は前期比0.9%減少しました。

愛媛県経済も外出自粛に伴う個人消費の落込みや、企業の生産・営業活動の停滞により、足元では弱い動きとなっています。

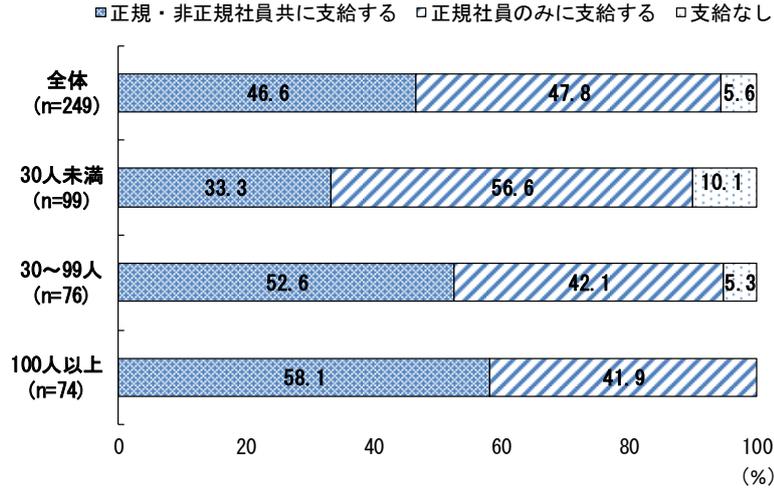
こうしたなかIRCでは、今夏の県内民間企業のボーナス支給動向を把握するためアンケートを実施しました。この度、その結果がまとまりましたのでご報告します。

調査要領	調査対象	愛媛県内に事業所を置く民間企業	831社
	調査方法	郵送によるアンケート方式	
	調査時期	2020年4月下旬～5月上旬	
	回答状況	有効回答企業数 (1社当たり平均正規社員数 129人 (2020年夏見込み)) 有効回答率	281社 33.8%

1 2020年夏のボーナス支給見込みの有無
～9割超が支給する見込み～

2020年夏のボーナス支給の有無について尋ねたところ、全体では9割超の企業が「支給する（見込み）」（「正規・非正規社員共に支給する」と「正規社員のみには支給する」の合計）と回答した。また、従業員規模別では、規模が大きいくほど「支給する（見込み）」割合が高くなる傾向にある。

図表-1. 2020年夏ボーナス支給見込みの有無

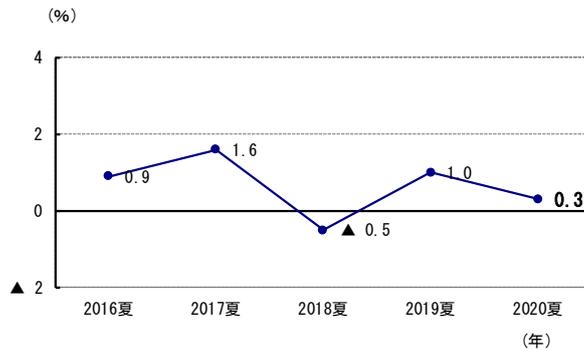


2 県内民間企業従業員1人当たり支給見込み額
～41万3千円、前年比0.3%増～

アンケート結果および経済センサスに基づき、県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額（税込み、以下同じ）を推計した結果、前年比0.3%増の41万3千円となった。

なお、経済指標や企業業績をもとにした全国の1人当たりボーナス支給予想額は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングは前年比7.6%減の35万2千円、日本総研は同6.4%減の35万7千円となっている。

図表-2. 県内民間企業夏のボーナス従業員1人当たり支給見込み額前年比増減率の推移



注：従業員数の業種別構成実態に合わせ加重平均により修正を行った

3 部門別・業種別動向 ～製造業が3.4%減、非製造業が1.4%増～

県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額を部門別にみると、製造業は前年比3.4%減の52万3千円、非製造業は前年比1.4%増の38万8千円となった。

製造業は「紙・パルプ」（前年比10.9%増）が前年を上回る一方、「その他製造」（同12.3%減）、「機械・金属」（同9.3%減）など7業種が前年を下回った。

非製造業は「建設」（同5.2%増）、「小売」（同2.2%増）など4業種が前年を上回る一方、「卸売」（同3.4%減）が前年を下回った。

なお、支給月数は全業種平均で前年比0.03ヵ月減の1.64ヵ月となった。

図表-3. 業種別の増減率
(従業員1人当たり支給見込み額の増減率)

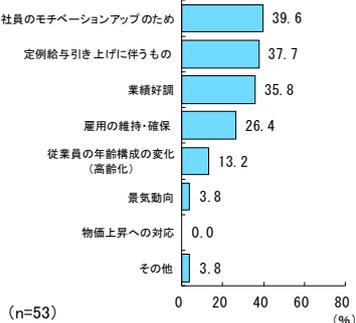
		(単位: %)		
増減	製造業	非製造業		
増加	紙・パルプ	10.9	建設	5.2
			小売	2.2
			運輸	0.6
			サービス	0.5
減少	その他製造	▲12.3	卸売	▲3.4
	機械・金属	▲9.3		
	繊維	▲3.5		
	印刷	▲3.1		
	化学・石油	▲1.3		
	食料品	▲1.0		
	木材・木製品	▲0.3		

(注) アンケート回答企業、業種別従業員1人当たり支給見込み額等の詳細は図表-7参照

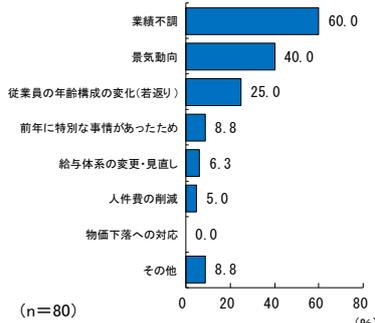
4 1人当たり支給見込み額の増加・減少要因 ～増加要因は「社員のモチベーションアップ」、減少要因は「業績不調」～

従業員1人当たりボーナス支給見込み額について、前年より支給を増やした企業に要因を尋ねると、「社員のモチベーションアップのため」が39.6%と最も多かった。一方、前年を下回った企業では、「業績不調」が60.0%と最も多かった。なお、「業績不調」を減少要因とする割合は、半年前（2019年冬季）に比べ20ポイント以上増加し、本質問をし始めてから（2017年夏季以降）、過去最多となった。

図表-4. 従業員1人当たり支給見込み額の増加要因(主要要因を2つまで)



図表-5. 従業員1人当たり支給見込み額の減少要因(主要要因を2つまで)

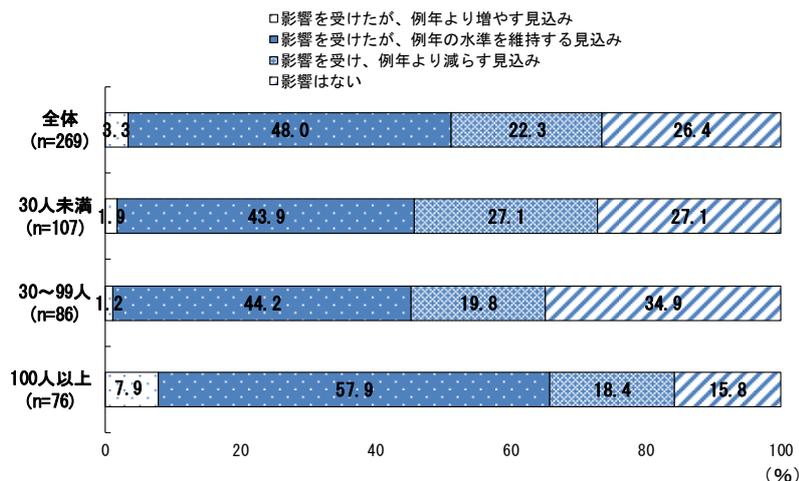


5

新型コロナウイルスの感染拡大によるボーナス支給への影響 ～例年の水準を維持する企業が半数～

新型コロナウイルスの感染拡大によるボーナス支給への影響について尋ねたところ、「影響を受けたが、例年の水準を維持する見込み」（48.0％）が最も多く、全体の5割弱を占めた。一方、「影響を受け、例年より減らす見込み」（22.3％）は約2割で、従業員規模30人未満では3割弱となった。

図表－6. 新型コロナウイルス感染拡大によるボーナス支給への影響



参考

県内民間企業の支給見込み総額
～約1,177億円、前年比1.3%増～

アンケート結果および毎月勤労統計調査等に基づき、県内民間企業のボーナス支給見込み総額を推計すると、1人当たり支給見込み額は前年比0.3%増加し、加えて支給対象人員が前年比1.0%増加となったことで、全体では同1.3%増の約1,177億円となった。

図表－7. 2020年夏の業種別ボーナス支給見込み額

(単位：千円、%、カ月、歳)

業種	項目	1人当たり支給額			増減率 対2019年夏	支給月数			平均 年齢
		2019年夏	2019年冬	2020年夏		2019年夏	2019年冬	2020年夏	
製造業	食料品	515	547	510	▲ 1.0	1.69	1.78	1.66	37.1
	繊維	327	328	316	▲ 3.5	1.38	1.37	1.32	43.5
	木材・木製品	228	233	227	▲ 0.3	0.59	0.60	0.57	42.4
	紙・パルプ	557	563	618	10.9	1.84	1.85	2.00	41.0
	印刷	309	285	299	▲ 3.1	1.26	1.18	1.22	42.8
	化学・石油	701	708	693	▲ 1.3	2.29	2.31	2.25	40.2
	機械・金属	688	602	624	▲ 9.3	2.31	2.05	2.10	39.0
	その他製造業	361	343	317	▲ 12.3	1.34	1.27	1.17	43.1
	製造業計	542	525	523	▲ 3.4	1.92	1.87	1.87	39.1
非製造業	建設	334	353	351	5.2	1.13	1.16	1.14	45.5
	卸売	492	500	475	▲ 3.4	1.58	1.63	1.54	42.1
	小売	428	446	437	2.2	1.65	1.72	1.67	37.4
	運輸	337	365	339	0.6	1.17	1.28	1.18	44.2
	その他サービス	356	392	358	0.5	1.27	1.38	1.26	42.1
	非製造業計	383	410	388	1.4	1.36	1.44	1.36	42.0
全産業	411	431	413	0.3	1.67	1.68	1.64	40.4	

- (注) 1. 1人当たり支給額は税込み支給額を平均した
 2. 太字は従業員数の業種別構成実態に合わせて加重平均により修正を行った
 3. 2020年夏は見込み

まとめ

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が広がるなか、今回の調査では県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額は、前年比0.3%増とほぼ前年並みの水準となった。しかしながら、本調査は4月末時点の見込みの回答であり、かつ、ボーナス支給の見通しが立たず回答を見送る企業が例年以上に多かったことから、実際の支給額とかい離する可能性も考えられる。

なお、最後になりましたが、本調査にあたり、数多くの企業の方々にご協力をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。